

## 地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 谷山北

【計画】

作成担当者： 宮内 泰明

開催日時	平成30年10月05日 14:00 ~ 16:15	開催場所	谷山北公民館
参加者	民生委員児童委員協議会：4人、社会福祉法人：3人、保健センター：1人、居宅介護支援事業所：1人、学識経験者：1人、地域包括支援センター職員：8人		
	総数	18人	
内容	テーマ	新規事業の紹介、介護予防・生活支援サービス事業者協議会の報告にて現状の理解を深めた上で、地域課題について意見交換を行う。	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築、地域づくり、資源開発	
	概要	①今年度からの新規事業の紹介 ・介護予防地域ケア会議 ・介護予防把握事業 ②介護保険制度改正の影響と地域課題 ③平成30年度第2回介護予防・生活支援サービス事業者協議会の報告 ④意見交換	

【結果】

開催日時	平成30年10月05日 14:00 ~ 16:15	開催場所	谷山北公民館
参加者	民生委員児童委員協議会：4人、社会福祉法人：3人、保健センター：1人、居宅介護支援事業所：1人、学識経験者：1人、地域包括支援センター職員：8人		
	総数	18人	
内容	<b>【内容】</b> 今年度からの当法人新規事業の説明（介護予防地域ケア会議、介護予防把握事業）について事例を交えながら説明し、介護予防の理念（サービスからの卒業を目指した支援展開）に対する規範的統合を図る良い機会となった。介護予防把握事業の説明では、参加者の民生委員宅にも「すこやか長寿調査票」が届いていたとの情報提供もあり、今後、市民から民生委員等への問い合わせがあった場合には必要な協力をいただけることを確認した。 次に、今年度の介護保険法改正（生活援助の回数が多いケースにおける保険者への届出義務）および（訪問介護の老計10号）を説明し、先日、圏域内のケアマネジャーを対象に開催した地域ケア会議より「五ヶ別府地域の社会調査」の結果を報告。現在、五ヶ別府地域には、介護保険事業所や医療機関がなく、商店も少ない地域である。日頃、包括がどのように地域課題を集約しているか実例を交えて説明しながら、先日、当法人の所長会議にて協議された「鹿児島市心をつなぐ訪問給食の配食に係る実態調査」について経過報告を行い、参加委員（各社会福祉法人の経営担当者）より実情の説明と改善策（提案）について具体的な意見交換を行うことができた。		
	<b>【成果】</b> ①参加委員より、この地域ケア推進会議の内容を、町内会や校区社協など、地域住民が集う様々な場で話をして欲しいとの要請を受けた。今後、要請があった際には日程調整の上極力参加出来るよう調整する。また、民児協へ出直し、助け合いチラシを使用した啓発活動について了承を得た。 ②鹿児島市心をつなぐ訪問給食事業においては、谷山北圏域でも新規申請が難しい地域がある事を確認。施設側の事情として、人員不足が深刻であることが確認できた。そのため、谷山北圏域から行政に対して、今後の地域住民による支え合い活動（モデル事業やB型）の活動内容として認めてもらえないかを提言する事を確認した。		
今後の課題など	①上記6. ②について、鹿児島市への提言を行い、その結果を谷山北の地域ケア推進会議にて報告する。 ②今年度第3回地域ケア推進会議では、鹿児島市における社会資源開発をテーマに開催。先進事例などを紹介しながら、谷山北圏域における社会資源の開発について意見交換を実施する。		